

まがずな

KIZUNA

5 2021年
令和3年

特集 子ども

子どもの心に寄り添い、
ともに育む



INDEX

- 2 「僕達には、キラキラする義務などない。」
山田ルイ53世さん (お笑いコンビ 髭男爵)
- 3 「子どもの権利を守るために」
湯澤 直美さん (立教大学 教授)
- 4 「児童虐待防止につながる地域の支援」
増沢 高さん (子どもの虹情報研修センター 研究部長)
- 5 「落ち着いて、一人じゃないからね」
福島 美由紀さん (スクールカウンセラー)
- 6 「子どもたちが安心して過ごせる場所を目指して」
多田 実乗さん (特例認定NPO法人兵庫子ども支援団体 代表理事)
- 7 ふれあいサロン
- 8 情報ぷらざ



子どもも大人と同様に基本的人権を保障されています。子どもは、一人の人間として最大限に尊重され、守られなければなりません。しかし、いじめや体罰、虐待など子どもが被害者となる事案の増加、コロナ禍における貧困の深刻化など子どもを取り巻く環境は、厳しい状況にあります。

本号では、子どもの置かれる現状について認識し、子どもたちの人権を守るために私たちに何ができるかを考えてみましょう。

特集 子ども

僕達には、キラキラする義務などない。



お笑いコンビ 髭男爵
やま だ せい
山田ルイ53世さん

プロフィール

山田ルイ53世(本名 山田順三)。お笑いコンビ、髭男爵のツッコミ担当。兵庫県の名門中学に進学するも、引きこもりとなり、大検合格を経て愛媛大学に進学。その後中退し、芸人となる。現在は作家としても活動。『一発屋芸人列伝』(新潮社)は、雑誌ジャーナリズム賞作品賞を受賞するなど、高い評価を得ている。

他の著書に『ヒキコもり漂流記 完全版』(角川文庫)、『一発屋芸人の不本意な日常』(朝日新聞出版)、『パパが貴族』(双葉社)など。

8050問題を題材にした、本協会制作者権啓発ビデオ「カンパニユラの夢」に出演され、ご自身もひきこもり経験のある山田ルイ53世さんにお話を伺いました。

Q どのような子どもでしたか

A 小学校では、勉強も運動も得意で、6年生のときには児童会長に選ばれたり、傍から見れば、活発で頭の良い子と映っていたと思います。一方で、「大人に褒められる」のが好きという、やらしい、面もありました。

小2のとき、

「こいつ、子供っぽい、雰囲気が悪くなるんですよ?」

と計算づくで綴ったポエムが新聞に載って、ニマリしたことがあります。

Q ひきこもりになったきっかけ

A 小6の夏から勉強をはじめ、六甲学

院中学に合格し、

「俺って凄いな……」

という、優越感に浸っていました。

入学後も、勉強・部活共に順風満帆

だったのですが、頑張り過ぎが祟っ

て、疲れ切ってしまったのが原因か

と思います。

Q 当時の自分に声をかけるとしたら

A 「何事も完璧にやり過ぎるな!」で

す。

当時はなんでも全力で完璧に取り

組む完璧主義でした。それでどこか

心のバランスを崩してしまっただ

だと思います。

Q お笑いを始めたきっかけ

A 6年間ひきこもったあと大検を合

格し、なんとか潜り込んだ大学で、

「お笑いやらないか?」

と先輩に誘われたのがキッカケで

すが、正直、なんとなくです。それは今も同じで、娘達が自立する

まで飯を食わせる、くらいしか頭にありません。

テレビやラジオ、文筆業と色々やっています。基本暇潰しみたいなもの

です。

以前、長女(小3)に、

「なんでべんきょうしないとダメなの?」

と尋ねられ、

「勉強でもしてないと、人生暇だよ?」

と真顔で答えたような人間ですか

ら(笑)。

でも、それで良いと思っています。

でも、それで良いと思っています。

Q ひきこもりの子どもを持つ方へ

A お子さんがひきこもっているから

といって、親まで塞ぎ込んだり、趣

味やお友達との付き合いをやめる

必要はありません。親には親の人生

を過ごしてほしいと思います。

Q 子どもたちへのメッセージ

A 大人達は、

「可能性は無限大だ!」

などと無責任なことを言いがちで

すが、現実とは違います。

何者にもなれない、人もいる。

でも、それで良いと思います。

皆が皆、キラキラと素敵に生きなく

とも良い。

そんな義務は無いのです。

子どもの権利を守るために

立教大学コミュニティ福祉学部 教授 湯澤 直美 さん

日本においては、2013年に、子どもの貧困対策の推進が政府及び自治体等の責務であることを明記した「子どもの貧困対策の推進に関する法律」が成立しました。「子どもの貧困」という捉え方は、貧困問題一般の議論では埋没しがちな「子ども期の特性」や「子どもの声」を可視化し、かつ、児童福祉一般の議論では埋没しがちな子育て世帯の階層性を可視化します。法律を根拠とした貧困対策の推進が、人生のスタートラインからの社会的不利を予防・緩和し、構造的な不平等を解消する営為となることが期待されます。

感染拡大の影響

しかしながら、新型コロナウイルス

感染症(COVID-19)のパンデミックという状況が発生しました。経済協力開発機構(OECD)は、パンデミックが健康面、社会面、経済面から世界の子どもの脅かす状況を生み出している」と指摘します。子どもがコロナ危機に苦しむリスクを最も高めるのが、貧困であると言われています。また、ユニセフ・イノチェンティ研究所は、『COVID-19を越えて家族と子どもを守る：先進国における社会的保護』を公表しました。そこでは、子どもの貧困は、先進国(OECDないしEU加盟国)全体で、少なくとも今後5年間は、COVID-19発生以前の水準を超えたままであると予想されています。一方、政府の財政支出のうち、子どもや



プロフィール

立教大学コミュニティ福祉学部教授。NPO 法人学生支援ハウスようこそ・副理事長として、社会的養護経験者の大学等進学をサポートする支援付きシェアハウスを運営している。社会的活動として、日本社会福祉学会副会長、貧困研究会副代表など。共著書に、『「子どもの貧困」を問い直す一 家族・ジェンダーの視点から』(法律文化社)など。

子育て世帯を支援する資金はごくわずかであり、社会的に最も置き去りにされた子どもやその家族を排除することにつながる、警鐘を鳴らしています。

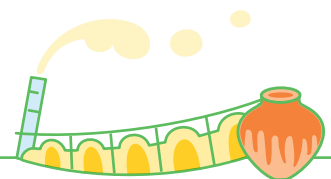
影のパンデミック

さらに、COVID-19のもとで、女性・女児に対する暴力が国境を越えて激化している深刻な状況は、「陰のパンデミック」と言われています。ブテレス国連事務総長は、「女性に対する暴力の防止と救済をCOVID-19に向けた国家規模の応急対応のための計画の重要項目とすること」という声明を出し注意を喚起しています。オンラインの利用が増えるなかでは、性的搾

取やネットでのいじめの問題が拡大することも懸念されています。

子どもの権利の保障

このようなCOVID-19の深刻な影響のもとで、私たちにはいま一度、子どもの基本的人権をいかに保障するのか、という視座に立つことが求められています。国連総会は子どもたちが経験する貧困の特殊性に鑑み、「子どもの貧困」とは単にお金がないというだけでなく、国連による子どもの権利条約に明記されているすべての権利の否定であると考えられる、との認識を示しています。このことを踏まえて、子どもの権利の保障を推進してまいります。



児童虐待防止につながる地域の支援

子どもの虹情報研修センター 研究部長 増沢 高さん

児童虐待防止の本格的な取組は1994年の子どもの権利条約批准と時を同じくして90年代半ばから始まりました。

児童相談所が家庭内虐待への介入を強めたところ、悲惨な虐待状況にいる子どもが想像以上にいることが分かりました。その後、貧困状況にある子どもも少なくなく、ひとり親家庭の2組に1組は貧困であることが明らかになりました。さらに学籍や住民票もなく、居所を転々として所在不明の子どもたちも多数いることも分かりました。このように、それまで子どもにとって恵まれている国と思われていた日本で、逆境状況にいる子どもが少なくない現実が浮かび上がってきたのです。

緊急事態宣言

新型コロナウイルスの感染が拡大した昨年の4月、政府が緊急事態宣言を発令しました。新型コロナウイルスの感染予防対策として、学校が休校となり、子どもは外出も控えて家に留まりました。親子での濃密な暮らしは、互いのきずなを深め合えた親子があった一方で、ストレスを溜めて息が詰まった親子がありました。

中には経済的に行き詰まり、食事もままならない家庭もありました。休校によって給食が途絶えたことが、こうした事態に拍車をかけることになりました。高まる家庭内ストレスが虐待のリスクを上昇させたのは間違いありません。

支援者と家族のつながり

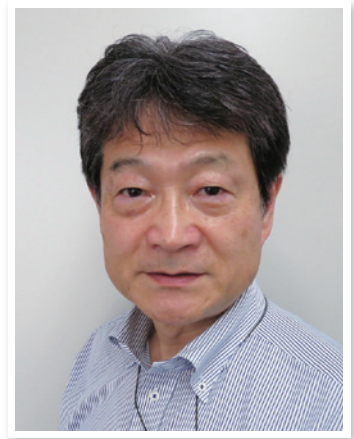
そんな緊急事態宣言下において、感染防止策をとったうえで、困難家庭を訪問して弁当や食材を届けた民間の機関がありました。そこでは食事を届けたことで、支援者と家族がつながり、子どもへのさらなる支援へと展開したケースもありました。家族の困難に目を向け、必要な支援を届けることは、虐待の防止にもつながります。

こうした活動は他の地域でも様々な形で行われていましたが、全国から見れば一部の地域にとどまるものでした。

新型コロナウイルスの克服は重要課題



※一部のIP電話からはつながりません。
※通話料無料



プロフィール

1986年3月に千葉大学大学院教育学研究科教育心理修士課程修了、2002年4月に子どもの虹情報研修センターに研修課長として勤務、2019年より現職。明治大学大学院文学研究科兼任講師。日本子ども虐待防止学会副理事長。



です。しかし緊急事態ゆえに、後回しにされがちな子どもと家族の危機的状況にも目を向ける必要があります。緊急事態だからこそ、自分のことだけでなく、困っている子どもと家庭を手助けできる地域社会であり、人でありたいと思います。



注 「子どもの食緊急支援プロジェクト」の実践です。財界の有志が資金を集め、全国で70か所以上の児童家庭支援センター(児童福祉施設の一つ)が地域のNPO団体等と協働して、食事に困っている家庭にお弁当や食材を届けました。
(<https://ft.1m-cl.com/s/>)

落ち着いて、 一人じゃないからね

スクールカウンセラー 福島 美由紀 さん



プロフィール

山口県出身。関西学院大学大学院博士課程満期退学。臨床心理士。公認心理師。兵庫県スクールカウンセラーとして17年。伊丹市・三田市・加古川市・芦屋市の中学校を歴任。伊丹市スクールカウンセラーとして各小学校に14年。本年度は高校に進出。看護学校非常勤講師として22年間、同居の義母や夫、息子3人をネタに「メンタルヘルスマネジメント」や「カウンセリング論」の授業を担当。兵庫県臨床心理会理事。

落ち着いて、 一つずつ大丈夫

これは、私の「おまじない」です。人が失敗したり、自分のことを「ダメだな」と感じるのは、焦ってパニックに陥ったり、マイナスな感情がコントロールできない時です。そんな時、この「心の持ち方」を心得ているだけで、ほとんどのことはうまくいきます。

コロナ誹謗中傷防止授業

ところが、新型コロナウイルス感染症については全世界が「知らない」とだらけだったので、全員が落ち着いて行動しづらかったと思います。一斉休校、ステイホーム、マスクの着用、3密を避けソーシャルディスタンスを

とるようになった結果、人々の「分断と孤立化」が進みました。青少年の自死も増え、子どものストレスも高くなる中、昨年から「コロナ誹謗中傷防止授業」を、各学校で展開して参りました。

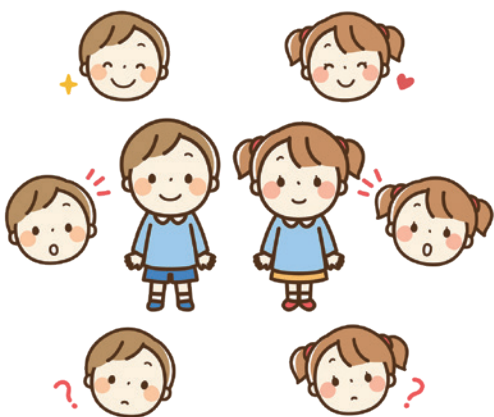
兵庫県立大学の富永良喜教授と共同で作ったこの授業は、①悪口を言われている時にどんな行動をとるかを認知行動療法の考えをモチーフに、②新型コロナウイルス感染症の正しい情報を伝えることで誹謗中傷が防げる、との観点で作りました。怒りや悲しさを持つのは当たり前だけれど、呼吸法等を用いて「落ち着いて」捉えなおし、適切な表現ができ、最後は医療従事者をも応援したくなるようなプログラムになっています。人は「イライラ」した時だけではな

く、「不安」や「恐怖」を感じる時でも他人や自分を攻撃するものだ、という心のカラクリ。発症前3日から発症後7日を経たら、感染力は下がるといふ医学の情報。心理学や医学の正しい知識等を盛り込むことで、いわれなき差別や誹謗中傷が防げることを伝えました。

一人ぼっちにしない

いくら「心の持ち方」を心得ていても、いじめや差別を受けた人は、「一人ぼっち」「誰もわかってくれない」「居場所がない」と感じます。その氷のような感情を溶かすには粘り強い「寄り添い」と「励まし」が必要になります。と同時に、もう一つ大切なことは、子どもたちへの心理教育です。加害者と言われる人たちは「何気なく」言っ

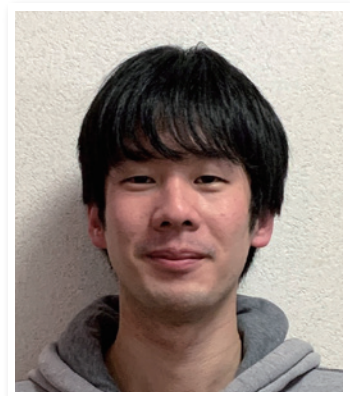
たりしていることも多く、それは「知らない」からです。誰もが被害者や加害者になってしまうような昨今、心理学や医学の知識を用いた小学生からの「心の健康教育」が重要になってくるのではないのでしょうか。今後とも、「誰も一人ぼっちにしない支援と教育」を心がけて参りたいと思います。



子どもたちが安心して 過ごせる場所を目指して

特別認定NPO法人兵庫子ども支援団体 代表理事

多田 実乗 さん



プロフィール

兵庫県立明石北高等学校在学中に、子どもに関する活動を行なうことを目的とした兵庫子ども支援団体を設立。2017年1月に兵庫県の認定を受け、NPO法人として登記。現代代表理事・小学校教諭。

子どもの貧困

「貧困」と耳にすると、私たちが思い浮かべるのは食べる物が無い、家がない、そんな境遇の人たちではないでしょうか。しかし、「貧困」は確実に私たちの周りに目に見えない形で存在しています。日本でよく言われる「貧困」は、相対的貧困と言われ、子どもの6人に1人が該当します。ひとり親世帯に限定すると2人に1人がそのような状態です。前述したとおり、日本の貧困は目に見えにくく、一見普通の生活をしているけれど、実際の生活を見てみると我慢を強いられた厳しい生活を送っている人がいます。

今でも苦しむ子どもがいます

私たちは地域の子どもたちに学習の機会を提供する学習支援や遊んだ

り勉強したりできる居場所づくりを行なっています。学習支援と聞くと、「塾の代わりだろう」と思われる方もいるかもしれませんが、学習面はもちろん、心の面での支援も行なっています。また、昨年3月から5月にかけて全国の学校園で行われた臨時休校は、子どもたちに大きな影響を与えました。親が働きに出ている子どもたちは、一人や兄弟姉妹で過ごすことが多くなり、学校が休みになったことで生活のリズムが変わった子どももいます。その結果、1年経った今でも苦しむ子どもがいます。私たちはそのような子どもたちにLINEを利用したオンライン相談を昨年の5月よりスタートさせ、これまで200名を超える子どもたちが友だち登録を行い、相談が寄せられています。

安心して過ごせる場所

子どもたちにとっては、家や学校が主な居場所であることが多いです。塾に行っている子どもは塾が、習い事をしている子どもは習い事が、それぞれ居場所になり得ます。しかし、そういった居場所がない子どもたちもいます。オフラインでの対面で会える場所はもちろんですが、オンライン上でも自分の胸の内を話すことができる場所、そういった地域の子どもたちが安心して過ごせる場所を作っていくことで子どもたちの健やかな成長、そして地域の活性化に繋がると考えています。

特別認定NPO法人 兵庫子ども支援団体
<https://hpcso.com/>

ひとりで悩みを抱え込まないで！

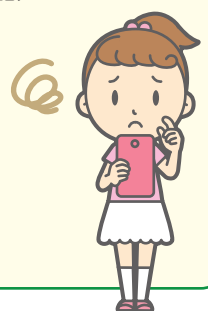
いじめ、不登校、友人関係や進路、体罰だけでなく、子どもたちのSOS全般について児童生徒や保護者などの相談に応じ、県内の幼児や児童生徒などのこころの悩みの解消や子どもたちのSOSの早期発見を図るため、相談窓口を設けています。

ひょうごっ子(いじめ・体罰・子ども安全)相談24時間ホットライン

- 電話相談 24時間子供SOSダイヤル フリーダイヤル **0120-0-78310** (携帯、固定電話)
- 面接相談 月～金の9:00～17:00 (祝日と12/29～1/3は休み)
※申込時に、相談日時を決定
相談場所：ひょうごっ子悩み相談センター相談室(県立教育研修所本館1階)
申込は上記24時間子供SOSダイヤルまで

ひょうごっ子SNS悩み相談

SNSを使った兵庫県内の児童生徒のための悩み相談です。
時間：17:00～21:00(相談受付は20:30まで)
※詳しくは各学校で配布をするチラシや周知カード等でご確認ください。

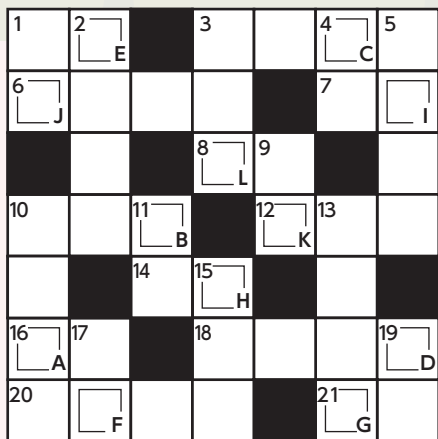


ふれあい サロン

投稿 & クロスワードで

**A4フラットファイルが入る
「オリジナルトートバッグ」**
をプレゼント!

問 A~Lの文字を順番に並べると、何という言葉になるでしょう?



↓ タテのカギ

- 1 新人—— 三冠—— 賞金——
- 2 腕力で自分の体を持ち上げる鉄棒の技
- 3 動物を飼うこと
- 4 「模擬試験」の略
- 5 走り幅跳びや棒高跳びなどでつけます
- 9 見えている範囲。狭い人は広げたほうがよい
- 10 小—— 中—— 高等——
- 11 縄文時代や弥生時代に作られました
- 13 夜空を飛び回る哺乳類
- 15 時間+空間
- 17 日本の通貨単位
- 19 お祝いを贈るときに添える飾り

→ ヨコのカギ

- 1 お風呂で使う容器
- 3 ご飯をよそうのに使います
- 6 ベートーベンの交響曲第5番
- 7 警察—— 消防—— 税務——
- 8 髪をとかすのに使います
- 10 バス—— 観光——
- 12 ——性動物 ——列車
- 14 犬や猿と並ぶ桃太郎の仲間
- 16 ひそめたり枯らしたり大にしたりします
- 18 りんごやぶどうやみかんなど
- 20 ——会 ——靴 ——神経
- 21 借金をするとついてきます

3月号の答え

カケガエノナイソング



読者からのお便り

コロナ禍の中で、感染者・医療従事者などへの差別が問題となっている。皆が一人ひとりに家族などの大切な存在があることを決して忘れてはならないと思います。他者への思いやりの心を忘れず!!

(明石市 T.O さん)

スーパーのレジで前の方が小銭を落とされたので、とっさに手が動いてしまい、拾ったのですが「あっ、このご時世に悪かったのかな?」と思いつつさしでしたら、お礼を言われホッとしました。1日も早いコロナの終息を願う日々です。

(播磨町 ユノの母 さん)

■「読者からのお便り」の投稿掲載者(令和3年7月号)とクロスワードの正解者(抽選で10名)とに、「オリジナルトートバッグ」をプレゼント。本誌「きずな」へのご意見や感想、人々とのふれあいを通した心温まるエピソードなどを募集しています。どしどしご投稿、ご応募ください。

※投稿掲載時はペンネームの使用も可能です。 ※当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。

■応募方法・締め切り

はがき、FAX、Eメールで受け付け。クロスワードの答え、郵便番号・住所、名前(ペンネームを使用の場合も要併記)、電話番号、年齢、職業、本誌へのご意見・ご感想を明記の上、ご応募ください。

■応募先

〒650-0003 神戸市中央区山本通4丁目22番15号 県立のじぎく会館内
(公財)兵庫県人権啓発協会「きずな」ふれあいサロン係
TEL: 078(242)5355 FAX: 078(242)5360 Eメール: info@hyogo-jinken.or.jp

*応募者および投稿者の個人情報は、管理を適切に行い、誌面づくり以外の目的には利用いたしません。



締め切り **5月26日(水)必着**



人権イメージキャラクター
「人KENまもる君」

子ども
たちへ

「子どもの人権110番」



「人KENあゆみちゃん」

学校で「いじめ」を受けて学校に行きたくない、親から虐待されている、でも先生や親には言えない・・・、誰に相談していいかわからない・・・。もしもそんな苦しみを抱えていたら、一人で悩まずに、私たちにお電話ください。法務局・地方自治体の職員、または人権擁護委員が、皆さんのお話を聞いて、どうしたらいいか一緒に考えます。相談は無料、相談内容の秘密は守ります。

「子どもの人権110番」は、このような子どもの発する信号をいち早くキャッチし、その解決に導くための相談を受け付ける専用相談電話であり、子どもだけでなく、大人もご利用可能です。

電話は、最寄りの法務局・地方自治体につながり、相談は、法務局職員又は人権擁護委員がお受けします。相談は無料、秘密は厳守します。法務省のホームページでも相談を受け付けています。

【電話番号】 フリーダイヤル **0120-007-110** (全国共通・無料)

※一部のIP電話からは接続できません。

【受付時間】 平日午前8時30分から午後5時15分まで

【インターネット人権相談受付窓口】 <https://www.jinken.go.jp>



人権総合情報サイト

「ひょうご・人権のひろば」開設



兵庫県マスコット
はばたん

人権メッセージ動画や
啓発ビデオ情報など多彩なコンテンツ、
様々な人権課題に関する情報を
発信します。



ひょうご・人権のひろば

検索



～あなたの心温まるエピソードを
「#Thanksボタン」で募集中!～

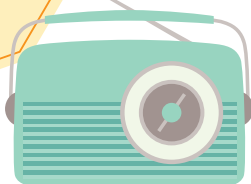


問い合わせ先 / (公財)兵庫県人権啓発協会 のじぎく会館内

ラジオ関西

「谷五郎の笑って暮らそう」

(毎週火曜日10:00～13:00)で、
12:30頃から「きずな」の記事等を
紹介しています。



HALF TIME



読者の皆様から「きずなはどこで手に入るの?」と質問が多く寄せられています。「ひょうご人権ジャーナル・きずな」は、兵庫県庁やそれぞれの県民局、県民センター、兵庫県内の市や町、区役所などに置いています。また、送料をご負担いただきますと、郵送も可能です。ぜひご活用ください。

「きずな」は、協会ホームページからも
ご覧になれます。

兵庫県人権啓発協会

検索



(公財)兵庫県人権啓発協会 〒650-0003 神戸市中央区山本通4-22-15 県立のじぎく会館内
TEL 078(242)5355 FAX 078(242)5360 info@hyogo-jinken.or.jp